

吹田市シティプロモーションビジョンの進捗状況

1 「吹田市シティプロモーションビジョン」の概要

(1) 策定

平成29年(2017年)3月

(2) 対象

全市民

(3) 目標と方向性

市への愛着や誇りが醸成される取組を基本とし、これらの取組が市内に浸透し、さらに向上していくことで市外からも本市へのあこがれなどの関心を持たれる

【数値目標】 市民の定住意向 70%以上

【コンセプト】 Suitable city (スイタブルシティ)



暮らすにはぴったりなまち

(暮らしにおける様々な場面がバランス良く揃っている)

2 数値目標の進捗状況

市民の定住意向

年度	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
定住意向[%]	54.6	57.1	57.8	61.5	59.8	61.7	?

※2010、2014、2018、2022年度は市民意識調査による。
2012、2016、2020年度は市政モニタリング調査による。

3 これまでの主な取組

(1) SNS

すいたんツイッター・フェイスブック、吹田市公式インスタグラムで本市の魅力等について情報発信。

(2) シティプロモーション冊子、ホームページ

シティプロモーション冊子「suitable life」の配布、ホームページ「suitablecity web」の公開など。

(3) 吹田市情報発信プラザ「Inforest すいた」

情報発信拠点の運営。

吹田の魅力を体験・体感できる場所として令和4年3月にリニューアルオープン。

(4) 各部連携事業

各室課が抱える課題に関し、シティプロモーション推進室と各室課が連携し、シティプロモーションの観点を持った事業を実施。

投票済証リニューアル、ロビープロジェクター、バナーアート(懸垂幕活用)など。

(5) プロモーショングッズ

様々なグッズの販売・配布など。

また、市公式インスタグラムでフォトコンテストを実施し、吹田の魅力的な写真を集めたカレンダー「すいかレ」を作成・販売。

(6) イベント関係

すいたフェスタ運営補助金、シティプロモーション促進補助金など、イベント実施団体への支援。

また、関係所管で開催されるイベントへの出展やすいたんの出演など。

(7) 大学との連携

大学連携推進協議会の開催や市内大学との連携事業の実施など。

(8) シティプロモーション提案プロジェクト「enZINE」(～令和2年度)

若手職員による部局横断的な提案プロジェクト。

職員統一名刺、すいたん Line スタンプ、すいたんのパン、すいたんチャレンジ(動画)など。

(9) 市制施行80周年記念事業(令和2年度)

80周年の節目を記念し、様々な取組を実施。

市プロモーション楽曲「Home Suita Home」(葉加瀬太郎さん作曲)の制作、記念誌の発行、イベントの実施、プロモーショングッズの作成など。

(10) その他

すいたん関係(着ぐるみ貸出、デザイン使用申請など)、ガンバ大阪応援関係(GAMBA DAY、スタジアムでのすいたんによる応援など)、すいたん号(ラッピングカー)運行、「まちっと北摂」での情報発信、大学との連携、Suitable Styleの導入、研修の実施(チラシデザイン等)、NTT西日本との連携事業(情報化推進の検討)、公共施設センスアップ業務(R4年度～)

※それぞれの取組の詳細は資料2を参照

4 シティプロモーションの取組の進め方

吹田市シティプロモーションビジョンの目標と方向性に沿って、市への愛着や誇りが醸成される取組を進める。

取組を進めるにあたっては、既存の取組の実施状況を検証するとともに、次年度の重点テーマや新たな取組案などを検討し、より効果的に取組が実施できるよう努める。